

令和7年度第2回 東京都在宅介護・医療協働推進部会主なご意見まとめ

● 令和8年2月9日（月曜日）開催

● 議題

（1）令和7年度訪問看護推進総合事業の取組状況及び令和8年度予算案について

（2）令和8年度在宅療養推進に向けた都の取組（案）

（1）令和7年度訪問看護推進総合事業の取組状況及び令和8年度予算案について

<協働育成支援事業>

○ それぞれの地域での協力体制の強化という意味で、この支援事業を活用できれば。（災害時等、横のつながりが大切になると思う。）

○ テーマが“人材育成”だが、BCPや同行訪問で、中小の訪問看護ステーションが自社での訪問が難しくどうしようもない場合に、訪問看護の業務も協働して行えるような取組みも対象とできるとよい。（人手不足の際に、この同行訪問を利用して補完しあうことができれば）

○ それぞれの訪問看護ステーションが持つ得意分野を組み合わせることで、強みを生かすことができるのでは。

（2）令和8年度在宅療養推進に向けた都の取組（案）

<多職種連携ポータルサイトの運営>

○ ポータルサイトの仕組み等含めて、認知度が課題。

○ 介護情報基盤の整備に向けて、データ連携システムの活用が推奨されている。地域で看護、医療、介護を一括した情報システム（多職種連携システム）が重要で、医療と介護の連携を意識した仕組みづくりをしていったほうがいいのでは。

<入退院支援>

○ 情報不足が根底に大きくあり、地域連携がうまくいっていない。この事業を入り口として、多くのニーズがあるため、今後より充実させていきたい。

<在宅療養>

○ 一人暮らし人口が増えている中で、在宅療養という選択ができるよう、広報はもちろん、医療と介護の連携、取り組みをしっかりとやっていただきたい。

<管理者の教育>

○ 特に小規模なステーション等、質の低下がみられる。管理者の研修を教育ステーション含めてやっていかねばならない。数を増やすより、質のいいステーションをどう確保していくかが重要。